

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	2	年次	1 年次
使用教科書	FLEX English Communication I（増進堂）						
副教材等	オンライン学習支援ツール Festa!						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

この授業では、教科書で扱われているトピックやそれに関連するより発展的な題材について 4 技能 (Reading/Listening/Speaking/Writing) を駆使して内容を理解するだけにとどまらず、それに関する自分の意見を持ち、他者とそれらの意見を伝え合い、その結果深い学びや自己の思考の深化につなげることを目標とする。授業で失敗することを恐れず、自分の意見を英語で表現することに慣れ、多様な考え方との出会いを是非とも楽しんでもらいたい。

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高 I）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音統 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① ゆっくりはっきりとした発話であれば、理解することができる。	① 音声変化やイントネーションを意識して読むことができる。	① 身近な話題や関心のある社会的な話題であれば、相手の発言を受けて、間違いを恐れず即座で自分の考えを表現することができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら発音することができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、具体的に書くことができる。
② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をある程度理解することができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、話の展開やその全体像を想像することができる。 ③ 辞書を活用しながら、文中の品詞や意味のまとまりを意識して読むことができる。	② 相手の発言内容を確認したり、つなぎ言葉（gap fillers）を使ったりして、やりとりを続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、具体的に話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備をすれば、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英文の内容、文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、正確に用いることができる。	・英文で書かれた文章を理解し、要約したり、自分の言葉で言い換えたりしている。 できる。(Retelling) ・英文で書かれた文章に対する自分の意見を述べたり、それらを共有したりしている。 (Presenting your opinions)	・授業を積極的に楽しんでい る。 ・授業の振り返り（リフレク ション）を行い、学習の成果と課題を明確にしようとしている。
評 価 方 法	定期考査、小テストなど	定期考査、パフォーマンス課題（スピーチ・リテリングテスト・プレゼンテーションなど）	プロジェクト、授業中の取り組み

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	Lesson 1: How Can We Become Stronger? 助動詞/ to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・の形容詞的用法 Lesson 2: The Jar of Life 動名詞/関節疑問文 Lesson 4: Malala: Fighting for Women's Rights 関係代名詞/現在完了形 <Performance Test ① / Project ①>
2 学期	Lesson 5: Mount Fuji 使役動詞/節を導く形式主語 it Lesson 3: It's Always Sunny in Space! 後置修飾/現在完了形 Lesson 6: Thomas the Tank Engine and SDGs 関係代名詞 what/強調構文 it..that Lesson 7: Virtual Water 関係代名詞の非制限用法/関係副詞 Lesson 10: Donald Keene and His Love of Japan 前置詞 + 関係代名詞/完了進行形 <Performance Test ② / Project ②>
3 学期	Lesson 8: Wearable Robots May Change Our Life 仮定法過去/仮定法過去完了 Lesson 9: Biomimicry-Inspired by Nature 知覚動詞/分詞構文 <Final Project>

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2	年次	1 年次
使用教科書 (出版社)	MAINSTREAM I (増進堂)						
副教材等 (出版社)	Vision Quest 総合英語 Ultimate(啓林館), Vision Quest Workbook 24 (啓林館) Vision Quest Workbook 47(啓林館), Insight 英文法・語法・熟語 問題集 (啓林館) Audrey Hepburn(啓林館)						

1. いい学びをつくるためのマインドセット

This year, we will build a strong foundation in English grammar that will help you express yourself clearly and confidently. We will learn not only the rules of language but also how to use English to understand yourself better and respect others. Our journey will take us beyond grammar. We will explore the inspiring life of *Audrey Hepburn*, discovering how kindness and courage can change the world. Later, we will study the Holocaust, a difficult but important topic, to develop critical thinking and empathy. Throughout the year, you will practice speaking, reading, and writing English while thinking deeply about important issues. By the end of the course, you will be able to share your thoughts in English with confidence and respect for others. Let's work together to make this year meaningful and rewarding!

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List (高 I) より

聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① ゆっくりはっきりとした発話であれば、理解することができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をある程度理解することができる。	① 音声変化やイントネーションを意識して読むことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、話の展開やその全体像を想像することができる。 ③ 辞書を活用しながら、文中の品詞や意味のまとまりを意識して読むことができる。	① 身近な話題や関心のある社会的な話題であれば、相手の発言を受けて、間違いを恐れず即興で自分の考えを表現することができる。 ② 相手の発言内容を確認したり、つなぎ言葉 (gap fillers) を使ったりして、やりとりを続けることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら発音することができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、具体的に話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備をすれば、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、具体的に書くことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能 60%	b : 思考・判断・表現 30%	c : 主体的に取り組む態度 10%
観点 の 趣旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価規準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度

			度を身につけているかを評価する。
評価	定期試験・パフォーマンステスト・課題	Performance 課題	課題等の提出状況
方法	評価問題（小テスト）	定期考査	発問に対する回答の評価

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）	
	教科書	副教材
1 学期	Part 1 Speech Introducing Yourself Part 2 Presentation Talking about Everyday Life	Vision Quest Workbook 24 Audrey Hepburn Investigative Learning Snow Crystals CLIL Approach
2 学期	Part 3 Discussion & Debate Exchanging Your Ideas	Vision Quest Workbook 47 Connect with people overseas Understand the world
3 学期	Part 4 Writing Thinking about Our Society and the World	Insight 英文法・語法・熟語問題集

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☑科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☑他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☑異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☑文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☑自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☑自らの成長を認知し，さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	年次	2年次
使用教科書	New Rays English CommunicationⅡ（いっずな書店）						
副教材等	CNN Workbook Intensive Course 2025（朝日出版社）						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

In this class, you will practice the four English skills: listening, speaking, reading, and writing. You will work in pairs or groups to discuss various topics. By sharing ideas, you will learn to understand different opinions and deepen your own thinking. The main goal of this class is to become confident in expressing your own ideas in English, both in speaking and writing. We will use the textbook as a base, but we'll also explore topics related to your daily life, your interests, and current social issues. You'll be encouraged to think and form your own opinions and support them with reasons and examples. I hope you will challenge and inspire one another and develop your thoughts more deeply.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅱ）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気を付けながら、ある程度流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を覚えて即興で自分の考えをある程度適切に伝えることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら、ある程度流暢に話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、要約して書くことができる。
② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、概要をつかんだり必要な情報を読み取ったりすることができる。	② 対人関係によって表現を調整しながら、相手に意見を求めたり話題転換したりするなどのストラテジーを用いてやりとりを続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、再話する、あるいは要約して話すことができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理的に注意して書くことができる。
	③ 段落の構成や展開を把握し、未知語の意味を推測しながら読むことができる。		③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理的に注意して話すことができる。	

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英文の内容、文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、正確に用いている。	・英文で書かれた文章を理解し、要約したり、自分の言葉で言い換えたりしている。 ・英文で書かれた文章に対する自分の意見を述べたり、それらを共有したりしている。	・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たそうとしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしようとしている。
評 価 方 法	定期考査、小テストやパフォーマンス課題（エッセイライティング、発表）など	定期考査、パフォーマンス課題（ディスカッション、ディベート、スピーチやエッセイライ	パフォーマンス課題 リフレクションの内容

法		ティングなど)	
---	--	---------	--

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	New Rays II CHAPTER1～CHAPTER4, CNN News1～4 Ch.1 Words that Can Guide You in Life Ch.2 Stationary-Changing Our Lives for the Better Ch.3 Salt: More than Just a Seasoning Ch.4 The story of Holly Butcher
2 学期	New Rays II CHAPTER5～CHAPTER8, CNN News5～8 Ch.5 Welcome to Costa Rica: An Invitation to Ecotourism Ch.8 An Ainu Girl named Yukie Ch.6 The World Is Not So Simple Ch. 7 The Psychology of Everyday Experience
3 学期	New Rays II CHAPTER9～CHAPTER10, CNN News9～10 Ch.9 The Miracle of the Abu Simbel Temples Ch.10 Physics Goes a Long Way

* 太字の単元は重点的に学習する予定である。

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成 ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成 ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得 ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成 ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成 ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現Ⅱ	単位数	2	年次	2年次
使用教科書 (出版社)	MAINSTREAMⅡ(増進堂)						
副教材等 (出版社)	EARTHRISE 総合英語 (CHART INSTITUTE) 整理と演習 英文法 三訂版 (啓林館) Charlie Chaplin (啓林館)						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

The main goal of this course is to help understand English grammar. By learning grammar, students can improve their English skills—reading, writing, listening, and speaking.

Grammar is important for using English correctly. This course will help students build a strong foundation in the four skills through grammar practice.

Students are also encouraged to look up things they don't understand.

Learning English takes time and steady effort. Through this course, students will learn the importance of studying step by step.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List (高Ⅱより)

Student Agency	聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
①国際性 ②協同性 ③学習ストラテジー	①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
② 主体的・自律的に学び、互いを認め合い、協同して課題解決に向かうことで、自分と仲間の学びを高め合うことができる。	① 音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、ある程度流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをある程度適切に伝えることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら、ある程度流暢に話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、要約して書くことができる。
③	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、概要をつかんだり必要な情報を読み取ったりすることができる。	② 対人関係によって表現を選択しながら、相手に意見を求めたり話題転換したりするなどのストラテジーを用いてやりとりを続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、再話する、あるいは要約して話すことができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観 点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を、正しく理解し、英文を正確に書く力をつけられているか。	目的・場面・状況等に応じて語彙が使えるかどうか。学んだ表現を使って、聞く、話す、読む、書く力が身についているか。	学んだことを活かして、自分の意見や考えを表現できるようになっているか。
評 価	定期考査 パフォーマンステスト、課題、	定期考査 パフォーマンステスト、課題（	課題等の提出状況

1. いい学びをつくるためのマインドセット

The main objective of this course is to enable you to present your research in English. To do this, you need to learn vocabulary related to your topic and effective presentation skills. You will have chances to use the vocabulary and the skills in class, such as giving presentations on scientific news and making an abstract and a poster of your research. Whether you are going to visit Thailand or the U.S. on our school's exchange programs or not, everyone is expected to learn how to communicate complex content to others in an easy-to-understand way. This will help you become a better communicator no matter what language you use.

2. 学習の到達目標

- ① 科学英語特有の語句や構造を知ることにより、科学研究に対する新しい視点を獲得することができる。
- ② 「English for Science」の作成過程を通して、英語での専門用語や表現を身につけ、英語で書かれた複数の科学論文を的確に活用し、自らの研究内容を英語で論理的に表現でき、発表できる。
- ③ スピーチの力や英語による質疑応答の力を伸ばすことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英語での専門用語や表現を身につけているか。 英語による質疑応答ができるか。	自らの研究内容を英語で論理的に表現でき、発表できるか。	自らの研究内容を英語で論理的に表現でき、発表できるよう、自律的・協同的に学ぶことができるか。
評 価 方 法	プレゼンテーション、 Abstract、	プレゼンテーション、「English for Science」	プレゼンテーション、「English for Science」

*「総合的な探究の時間」の単位として実施することから、定期考査はおこなわず、評価は数値化しない。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	先行研究から学ぶ ：プレゼンテーションスキルを学ぶ、グループで発表をする、最新の科学のニュースについて知る

2 学期	Abstract とポスターをつくる ：自分の研究に関する語彙をまとめる、Abstract を完成させる、英語でポスター（or スライド）を作成する
3 学期	発表する ：個人での発表準備、発表会

* 主な学習活動は上記の通りであるが、適宜必要な内容を追加する。

* タイやアメリカの姉妹校からの訪問があるときには、特別プログラムを実施する。

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☐ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☐ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☐ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☐ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3	年次	3年次
担当者	立花 直樹						
使用教科書	FLEX English Communication Ⅲ（増進堂）						
副教材等	CNN Workbook Extended Course 2025（朝日出版社）						

1. いい学びをつくるためのマインドセット

In this course, you can improve your listening, reading, speaking, and writing skills. Focus may be put on listening and reading activities in class, but you will also have opportunities to output what you input and what you think of it. In addition, since foreign language learning is a lifelong journey, you need to know how you can learn a new language effectively. You are expected to find an answer to this question by the end of the year. Finally, you will experience learning both individually and collaboratively in class. I hope everyone in the classroom, both learners and teachers, has a mindset to make learning interesting together.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅲ）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 様々な英語の音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気がつけながら、自然な速さで流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをほぼ適切に伝えることができる。	① 自然な音声変化をつけながら発音することができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら要約して書くことができる。
② 社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。（難しい内容のものは、視覚的支援を活用してもよい。）	② 辞書を活用しながら、社会的な話題についての文章や学術論文の概要や詳細を理解することができる。	② 相手の意図を受け止め、表現上の困難に出会っても既知語を上手く使い、流暢に会話を続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら再話する、あるいは要約して話すことができる。	② 社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に書くことができる。
	③ 段落の構成や展開を意識して内容を把握し、再話できるようにまとめることができる。		③ 社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。	

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を正確に使うことができるか (40%)	目的・場面・状況に合わせ、聞き、読み、話し、書くことができるか (40%)	よりよい思考・判断・表現を追求することができるか (20%)
評 価 方 法	定期考査（25%） パフォーマンステスト、課題、小テスト（15%）	定期考査（25%） パフォーマンステスト、課題（15%）	パフォーマンステスト、課題、リフレクション（20%）

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	Lesson 3 What Makes a Hit Song? Lesson 7 Sustainable Lifestyle of the Edo Period Lesson 4 Visas for Life Lesson 8 Why do we lie?
2 学期	Lesson 1 Potential Uses of Optical Illusions Lesson 2 Expanding World Population Lesson 5 How Have Butterflies Survived? Lesson 9 In Defense of Zoos Lesson 10 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna
3 学期	Lesson 6 Mr. Price Meets Jakuchu Lesson 11 A Brief History of Humans

* 状況に応じて学習する単元の順番を入れ替えることもある。

* **太字**の単元は重点的に（時間をかけて）学習する。

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現Ⅲ	単位数	2	年次	3 年次
使用教科書 (出版社)	MAINSTREAM Ⅲ（増進堂）						
副教材等 (出版社)	EARTHRise 総合英語（CHART INSTITUTE） CNN Workbook Comprehensive Trainer2024(朝日出版)						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

The main goal of this course is to help students understand English grammar. By learning grammar, students can improve their overall English skills—reading, writing, listening, and speaking. Through learning English, students are encouraged to express their own opinions and develop the ability to research and find answers on their own. This course also aims to help students gain a broader perspective on the world.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List (高Ⅲより)

聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 様々な英語の音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。 ② 社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。(難しい内容のものは、視覚的支援を活用してもよい。)	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、自然な速さで流暢に読むことができる。 ② 辞書を活用しながら、社会的な話題についての文章や学術論文の概要や詳細を理解することができる。 ③ 段落の構成や展開を意識して内容を把握し、再話できるようにまとめることができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをほぼ適切に伝えることができる。 ② 相手の意図を受け止め、表現上の困難に出会っても既知語を上手く使い、流暢に会話を続けることができる。	① 自然な音声変化をつけながら発音することができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら再話する、あるいは要約して話すことができる。 ③ 社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら要約して書くことができる。 ② 社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観 点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を、正しく理解し、英文を正確に書く力をつけられているか。	目的・場面・状況等に応じて語彙が使えるかどうか。学んだ表現を使って、聞く、話す、読む、書く力が身についているか。	学んだことを活かして、自分の意見や考えを表現できるようになっているか。
評 価 方 法	定期考査 パフォーマンステスト、課題、小テスト	定期考査 パフォーマンステスト、課題	課題等の提出状況

4. 学習の活動

学期	学習内容(単元・項目)	
	教科書	副教材
1 学期	Part 1 Speech Talking About Your Ideas Part 2 Presentation Sharing Your Information	CNN Workbook Comprehensive Trainer2024(朝日出版)
2 学期	Part 3 Discussion & Debate Exchanging Your Ideas Part 4	CNN Workbook Comprehensive Trainer2024(朝日出版)

	Arguing For of Against a Proposal	
3 学期	Part 5 Writing Writing about Our Society and Future	CNN Workbook Comprehensive Trainer2024(朝日出版)

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	時事英語	単位数	2	年次	3年次
担当者	Ross Wirtanen 曾野 玲子						
使用教科書	CNN Workbook Comprehensive Trainer 2024（朝日出版社）						
副教材等	Authentic Materials						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

The goal of this course is to improve the three main skills (Listening, Speaking and Writing) using authentic materials, and to enable students to express and write their own opinions on all topics, with a focus on social issues occurring in the world. Particularly, emphasis will be placed on cultivating advanced writing skills. By the end of this year, students are expected to be able to express and write their own opinions on all topics. The students will also be exposed to the diverse opinions of their classmates and develop the ability to look at and think things critically.

2. 学習の到達目標

- Listening:社会的な話題についての話を聞いて、適宜視覚的支援を活用しながら、概要や要点をほぼ理解することができる。
- Speaking:社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。
- Writing:社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的にかくことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を正確に理解し、使用することができるか（40%）	目的・場面・状況に合わせて、聞き、話し、書くことができるか（40%）	授業中での活動に積極的に取り組むことで知識・技能を高め、自己の表現力を高めようとしているか（20%）
評 価 方 法	定期考査（20%） パフォーマンステスト(20%)	定期考査（20%） パフォーマンステスト(20%)	課題、リフレクション（20%）

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	News 1 No Longer an Afterthought News 2 Away with the Language Barrier News 3 Controversial Move_1 News 4 Redefining Women's Work_1
2 学期	News 5 Using the Sea to Clear the Sky News 6 Still a Deadly Threat News 7 Fight for Climate Justice News 8 Proliferating Lies News 9 Once Bitten, Twice Shy News 10 Knowing What It's Like
3 学期	News 11 TikTok CEO in the Hot Seat News 12 AI Comes to Hollywood

* 状況に応じて学習する単元の順番を入れ替えることもある。

* **太字**の単元は重点的に（時間をかけて）学習する。

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
☐ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
☐ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
☐ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
☐ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	異文化理解	単位数	2	年次	3年次
使用教科書 (出版社)	『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語ー』 (駿河台出版社)						
副教材等	なし						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

フランス語を通じて英語の仕組みを確認したり、フランスの社会や教育を知って日本の立ち位置を俯瞰して見つめたりすることで、受験の先にある学びにも目を向けてもらえたらと思います。

2. 学習の到達目標

- ・フランス語の会話表現を学びつつ、文法の仕組みについても理解する。
- ・フランスの社会、教育制度、歴史、文化についての知識を深める。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	単元ごとの確認テスト 定期試験	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 定期試験
評 価 方 法	授業内で学んだ表現を確認する。	授業内で学んだ内容を発表し、運用能力が身についているかを見る。	授業内で学んだ内容を発表し、運用能力が身についているかを見る。定期試験では、フランス文化について出題する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	挨拶、自己紹介、話せる言語・持ち物を言う、家族の紹介（Leçon0-4）
2学期	予定を言う、日課を言う、人やものを言い換える（Leçon5-8）
3学期	過去を語る（Leçon 9）

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☐ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☐ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成